

事業所における 自己評価結果（公表）

公表：平成 31 年 2 月 9 日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」金沢横川校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		1対1の個別療育の為、こどもの特性に合わせてスペースを作っている。	
	②	職員の配置数は適切である	○		児童一人に対し専属で一人の指導員がそのこどもの特性に合わせて対応している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		過度な情報にならないようにシンプルなつくりの環境で障がい特性に合わせて配慮している	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日々の清掃や片づけを行い、環境の保全に努めている。	入替え時、次の児童が来る前に掃除を行っている。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			PDCAサイクルとして明確に動いていない場合も多いので、広く職員同士意識できるように明文化していく。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			毎回のアンケートをもとにすぐに改善できるものと段階が必要なものとに分類化し、業務改善につなげていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内で評価結果を周知するとともに、評価・改善内容について会社に集約しホームページにて公開する。

適切な支援の提供	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者評価は現在行っていない。今後必要に応じて検討していく。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している		○	会社の発達支援研究所が職員の資質向上のための初任者研修・定例研修を実施している。必要に応じて増やしていく。	
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している		○	保護者様にアセスメントシートに記入してもらった後、聞き取りにてアセスメントを行い、子ども一人一人の特性に合わせて体験・支援計画を作成している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	統一されたアセスメントシートや NC プログラムでアセスメントを実施している。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○		日々の振り返りの中で家族の困りごとの聞き取りや学校等の地域についての聞き取りを行い、進路等のアドバイス・情報提供を行い、必要に応じて支援計画にも盛り込んでいるが、支援計画で項目別には設定していない。今後、必要に応じて項目として入れていくことも検討する。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている		○	支援計画に沿って日々の状況に合わせて個別の支援	

				内容を考えて提供している。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		児発管と担当指導員、他の指導員が参加しモニタリングを行い支援プログラムを立てている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		日々振り返り等で近々の状況を確認し、プログラムに活かしている。こどもの特性に合わせて敢えて固定する事もある。	
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		個別療育であるが、集団につながるための SST など実施、こどもの状況に応じて不定期に行っている小集団のイベント（きりひろば）SST に参加してもらっている。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝のミーティングにて必要な連携の確認を行う。	
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼時のミーティングでその日の状況の確認、次の日の必要事項を確認している。	
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々の記録を取り、支援の検証・改善につなげている。	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		日々の振り返りに加え、定期的にモニタリングで支援計画について見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		サービス担当者会議には児発管、必要に応じて担当指導員も参加できるようにしている。	自事業所だけでなく、他事業所や通園先での情報・医療機関や発達検査の結果を踏まえて、こどもに有益な情報・社会資源も収集して参加している。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		必要に応じて情報の共有や連携を行っている。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				該当者なし
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				該当者なし
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様の同意を頂いた上で広く連携・情報提供を行う様にしている。	連携の情報共有は必要に応じて、また要望に応じて実施している。今後も家族や相談支援機関を通じて連携に努めていく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		保護者様の同意を頂いた上で広く連携・情報提供を行う様にしている。	必要に応じて実施している。今後も家族や相談支援機関と連携して実施していく。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		保護者様の同意を頂いた上で広く連携・情報提供を行う様にしている。	連携の姿勢はあるが実施できていない。家族や相談支援機関とうまく連携して実施していきたい。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○			個別療育を行っている為、交流する機会がない。イベン

					トの際等交流と理解を深め、一緒に行える方法があるか探っていく。	
保護者への説明責任等	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			必要に応じて、参加していきたい。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の振り返りの中で共通理解を持っている。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		家族へのアドバイスや相談に乗ることは頻繁にあるが家族支援プログラムとして明確には行っていないため、今後勉強していきたい。
	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に丁寧に説明している。	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		契約時やモニタリング後に作成した支援計画について説明し同意を得ている。	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		日々の振り返りやモニタリング時、必要に応じて時間を取って保護者の相談に応じている。要望も多い。	どのような相談にも答えられる様に情報や社会資源の収集を行い、こどもと保護者様にとって有益な情報を提供していきたい。
③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			親の会に参加やママカフェを実施しているが、不定期であり広く周知されていないため、定期的に機会を作っていく。	
③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速に対応している。また、苦情窓口を設けて対応している。		

	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		1～2回/月にブログを更新し、活動概要や予定、避難訓練や必要と思われる周知事項について定期的に発信している。	法人内の「発達支援研究所」通信を定期的に発行している。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかる書庫にて管理している。	
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		視覚的ツール等子ども一人一人の特性に合わせて活用している。	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域の方が参加できるようなイベントは現在実施していないが（過去実施）、問い合わせがあればどなたでもイベントに参加可能。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを準備、いろいろな事案に対する訓練も月に1回行っている。	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		非常災害に対する定期的な訓練を行っている。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		アセスメントシート等にて確認している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		支援中に食事をとることがシステム上ない。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットの事例について自事業所の分はもちろん自社提携の事業所	

				の情報も共有している。	
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		1年に1回以上研修を行っている。	
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			運営規程や身体拘束についても重要事項説明書に明記し、該当する児童がいれば対応していく体制を整えている。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：平成 31年 2月 9日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」金沢横川校

保護者等数（児童数）15名 回収数 11名 割合 73%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3			こどもが小さいので問題ない。支障なく活動出来ている。	お子様一人一人の特性に合わせて、その子に応じたスペースを今後も個別で作らせて頂きます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2		2		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	5	4		2	防音や安全の為にと思いますがフロアマットの上で机・椅子の移動し辛く高さや距離が取り辛く感じる。	お子様の安全の為にフロアマットを使用していますが、お子様の特性に合わせた机・椅子の配置・高さの設定を行っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	1				
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8	3				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		3		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	10	1				
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8	2	1		色々と工夫してくれていて子どもが飽きない様になっている。	今後もよりお子さまの成長度合に合わせたプログラムを提供していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	2	5	3	普段幼稚園に通園しているので問題ありません。幼稚園ときらりの良さをもっと活かしたいと思う。	現在、外部のお子さまとの交流はございませんが、ご要望を頂ければ通園先への情報提供や協力・訪問は随時行います。

							交流ではないが、園と情報共有や園での様子をよく見に行ってくれるので助かります。	
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8	1		2		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	4	2	4	1	ペアレント・トレーニング等あれば是非参加したい。	現在、ペアレント・トレーニングは行っておりませんがご相談は随時受け付けております。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1			毎回職員の方と子どもの状態を話し合っています。	お子さまの状況に少しでも変化がございましたら遠慮なくお話し下さい
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	2	2	1	小さな声も聞いて下さりくみ取って頂けるのでありがたいです。	今後もお子さまの困り事やご相談を随時受け付けております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	2	4	個別のきりりでは必要ないと思う。きりりひろばや保護者会は未参加なのでまだ分かりません。ママカフェをもっとして欲しい。	保護者会ではございませんが、イベントやきりりひろばでの保護者様同士の交流はございます。ママカフェについては開催頻度の検討を行っていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7	2		2	毎回いろいろな相談に乗って頂けるので助かります。	どんな些細な事でも遠慮なくご相談下さい。精一杯対応させていただきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	9	1		1	支援内容や声かけも子どもに合わせて頂けるのでありがたく、また勉強になります。	これからもお子さまや保護者様に合わせた配慮・対応を行ってまいります。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	3	2	1	5		イベントや活動概要はホームページの各校舎のブログにてご案内させていただきます。

	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	10			1		
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	3	1	1		毎月、避難訓練・防犯訓練を行っております。3月と9月の年2回は児童・保護者様参加の訓練を行っていません。教室内に避難訓練のご案内を毎月掲示しております。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	4	3	2	参加した事がないので分かりません。	
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	8	1	1	1	毎回楽しみにしています。「今日はきり？」といつも聞かれるのでとても楽しみにしています。	ありがとうございます。今後もお子さまが楽しく支援・療育を受けれるプログラムを常に考えていきます。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	9	1		1	本人の好きな事を教材に取り入れて下さる事で興味が深まり成長を実感しています。	ありがとうございます。今後も保護者様のご意見・ご要望を頂き、よい事業所を目指していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。